

## 小田原市自転車競走実施条例の一部改正案に対する市民意見の募集結果について

### 1 意見募集の概要

政策等の題名	小田原市自転車競走実施条例の一部改正案
政策等の案の公表の日	平成31年(2019年)4月15日(月)
意見提出期間	平成31年(2019年)4月15日(月)から令和元年(2019年)5月14日(火)まで
市民への周知方法	意見募集要項の配布(市内公共施設、ホームページ)

### 2 結果の概要

提出された意見は、次のとおりです。

意見数(意見提出者数)	4件(4人)
インターネット	3人
ファクシミリ	人
郵送	1人
直接持参	人
無効な意見提出	0人

### 3 提出意見の内容

パブリックコメントで提出された意見の内容とそれに対する市の考え方は、次のとおりです。

〈総括表〉

区分	意見の考慮の結果	件数
A	意見を踏まえ、政策等に反映したもの	
B	意見の趣旨が既に政策等に反映されているもの	1
C	今後の検討のために参考とするもの	1
D	その他(質問など)	2

〈具体的な内容〉

(1) 賛成意見（意見の趣旨が既に政策等に反映されているもの）

	意見の内容（要旨）	区分	市の考え方（政策案との差異を含む。）
1	市外からの資金流入に積極的に取り組むべきであるため、本施策に賛成する。	B	ミッドナイト競輪は、電話投票及びインターネット投票のみの発売となっていることから、小田原競輪場にいつも来ていただいているお客様だけでなく、全国の競輪ファンに車券を購入いただけるものとなっています。

(2) 反対意見（今後の検討のために参考とするもの）

	意見の内容（要旨）	区分	市の考え方（政策案との差異を含む。）
1	平成20年2月の小田原市競輪事業検討委員会の収支が赤字になったときは廃止するとの方針を尊重すべきであり、ミッドナイト競輪を開催しても、改善効果が期待できないのではと考えるので、改正には反対である。	C	ミッドナイト競輪は、改正案の「改正の背景」に記載したとおり、観客を入れずに競走を実施するので、場内での投票券発売や場内警備など観客に関する業務を要せず、開催経費を削減して開催することができることから、収支改善が見込める開催となっています。また、平成20年2月の同検討委員会の報告書の「その他の留意事項」で、「繰出金を繰り出せている黒字の状態での廃止する場合、一般会計において貴重な財源となり市民生活に寄与する事業に充てられる繰出金がなくなることにつながる。」としておりますが、現状としては、毎年、小田原市競輪事業特別会計から一般会計へ繰出金を繰り出している状況（報告書で言う黒字の状態）です。

(3) その他（質問など）

	意見の内容（要旨）	区分	市の考え方（政策案との差異を含む。）
1	赤字がどの程度続いたら辞めるのか。	D	今のところ決まりはありません。なお、平成29年度単年度の事業収支は赤字でしたが、平成30年度単年度の事業収支は黒字になる見込みです。
2	開催中に第三者又は関係者による事件事故があった場合、小田原市の責任で原状復帰をするのかどうか。	D	小田原市の責に帰すべき事由により、競輪場の施設又は物件に損害を及ぼした場合のみ、その賠償の責を負うものと考えています。
3	開催中に自然災害で設備が壊れた場合小田原市の責任で原状復帰をするのか。	D	自然災害による設備等の損害については、借上げる競輪場の施設管理者（市）との契約にもよりますが、小田原市の責に帰すべき事由に該当しないので、施設管理者の責任で原状復帰するものと考えています。
4	条例の施行予定日が、10月1日となっているが、もっと早くすることはできないのか。	D	上期（4月～9月）の開催日程はすでに決まっており、ミッドナイト競輪を開催する場合は、早くても今年度の下期（10月～3月）からになりますので、10月1日施行を予定しています。
5	現在予定しているスケジュールでは何月から小田原市主催のミッドナイト競輪を楽しむことができるのか。	D	今年度の下期（10月～3月）からの開催を希望していますが、全国の下期における競輪開催日程については、これから決めて行くことになりますので、今のところ未定です。
6	今まではなぜミッドナイト競輪を行っていなかったのか。	D	今までは、小田原市が属する南関東地区においてミッドナイト競輪の実績がなかったためです。なお、昨年度の下期に南関東地区の川崎、松戸及び伊東温泉競輪場でミッドナイト競輪が開催され、開催できる見込みが立つようになりました。

	意見の内容（要旨）	区分	市の考え方（政策案との差異を含む。）
7	ミッドナイト競輪の開催により、年間何円程度の収支改善がされると考えているのか。	D	今のところ概算ではありますが、少なくとも1開催当たり約1千万円の収支改善が見込めるものと考えています。なお、約3千万円の赤字となっている昼間のFⅡ開催1節をミッドナイト競輪2節に振り替えての開催を検討していますので、約5千万円の収支改善ができるものと考えています。
8	ミッドナイト競輪を開催することにより、収支が悪化することは起こりえないのか。	D	ミッドナイト競輪は、観客を入れずに行われるため、観客に関する業務などの経費を削減することができますので、現状と比較して収支は良くなるかと考えています。ただし、ミッドナイト競輪に限らず、減多にあることではありませんが、荒天や降雪などにより、競輪の開催が途中で中止になってしまった場合は、車券売上金の収入の一部が無くなってしまふのに対し、選手手当などの必要経費は当然掛かることとなりますので、赤字になってしまうということも想定されます。